

# りんどうまつ

12月  
03日  
14時

寒い寒いと言っていた冬も終わり、桜の季節となりました。ついこの間、新年を迎えたと思っていました。気がつけば、桜の木々も満開になろうとしています。新年を迎え、ご入居者の皆様も益々お元気にお過ごしです。

## 開

所以来、毎年恒例となりました、一月一日の四階屋上でのご来光参拝。



昨年はいよいよのお天気で拝むことができました。今年もしっかり参拝していただきました。

## 参

加者を募ったところ、多くのご入居者に参加していただくことができ、幸先よく、二〇一三年のスタートを切ることでございました。

## ま

た、これまでは、人込みを避けるため、日にちをずらしていただいた初詣ですが、雰囲気味わっていただきたいと、今年は三日に近所の氷川神社へお参りに行ってきました。その時の皆様の真剣な表情が印象に残っています。

## 年

末から一月にかけては行事が目白押しです。クリスマス行事からお餅つき、初詣やお節料理、お雑煮、書初めに獅子舞。そして、料理クラブでは、夕食として、お好み焼きを作りました。食べて、笑ってまた食べて・・・(笑)

## 皆

様の食べっぷりに、きつと看護師たちには「ジャッキー」でしたらどうでしょう。みんな心配をよそに、皆様、とても満足な笑顔で過ごされていました。今年度も皆様の笑顔にたくさん出会えることができれば幸いです。



## 如月

# 豆まき

二月三日は節分です。今年も、恐ろしい顔をした鬼達が来そうに(??)大暴れを仕掛けて来ました(笑)。

年の反省を生かし、今年の豆は小袋に分けておいたものを鬼に投げました。お陰で、投げた豆を食べることが出来た。お掃除も簡単でした。しかし、豆を投げられた鬼たちはちょっと痛かったかもしれません・・・。



豆まきをした後は、豆を食べながら、鬼たちと記念撮影です。良くよく見ると、この鬼たち、誰かに・・・似てる、誰かに・・・似てる、誰かに・・・似てる。そんなことはさておき、皆様、童心にかえり楽しいひと時を過ごされました。

## も

ちろん、行事食は恵方巻き。でも、さすがに太巻き一本丸かじりは、皆様の胃袋には厳しいので、茶巾寿司と太巻き(二切れ)おかずには、天ぷらと茶碗蒸しをご提供しました。

月の行事と言えば、もう一つ。バレンタインデーがあります。バレンタインデーと聞いても、あまりピンとこないようですが、チョコレートを作りますとお話すると、皆様、俄然、やる気になります。

今年のバレンタインデーのチョコレート作りは「クラッチチョコレート」作り方としては、①チョコレートを刻む②チョコレートを湯煎で溶かす③コーンフレークに絡める④形を作って固める。という比較的、簡単な工程でした。味もミルクチョコ・いちごチョコ・ホワイトチョコといくつかご用意し、味の違いも楽しんでいただきました。



皆様、とても美味しく召上がっていました。

## 祭

# ひな祭り

が過ぎ、あつという間に三月となりました。三月の行事と言えば、『ひな祭り』です。三月一日の昼食時に行事食として、『きりたんぼ鍋』を行いました。

きりたんぼとは、ご飯を杉の棒に巻きつけて焼き、食べやすく切った物を言います。珍しい食べ物の登場に皆様、興味深々。ツグツグと煮える鍋をつつきながら、美味しくいただきました。



## そ

りして、三月三日はメインイベントの雛祭り行事です。本来は女の子の行事ですが、皆様に子供の頃を懐かしんでいただきたいという想いから、紙芝居を披露させていただきました。

## お

題目は『桃太郎』職員もおめかしをして、元気いっぱい、役になりきりました。誰もが当たり前のようになっている昔話ですが、改めて観ると、とても新鮮に感じ、思わず私たち職員も見入っていました。

## 昔

は、公園などに紙芝居屋さんややって来て、水あめなどを舐めながら、紙芝居をみるのが、子供たちにとっても楽しかったそうです。当時を思い出してか、皆様、懐かしそうにされていました。

## そ

して、今回は特別に、いつもより良いお茶と、有名店からお取り寄せをした、ひなあられを召し上がってくださいました。フロア中にもとても良い香りが広がり、なぜか、ホッとした気分になりました。

## 今

昔から日本にある、行事や伝統が失われつつあります。核家族が増え、一般家庭で行事を行うことが少なくなっているからだと思います。そんな中で、ひな祭りだけではなく、月々の行事を若い世代が学び、翌年へ繋げていけるということは、このような施設だからこそ、できるのかもしれない。



れからも、様々な行事を企画して、皆様に楽しんでいただければ幸いです。職員も努めていきたいと思っております。



ご挨拶

課長 金子太一

桜の花の便りが聞かれる頃になりました。ご入居者、ご家族の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

この度、四月一日より、法人本部『特別養護老人ホーム さくら・障害者支援施設かえで』へ異動となりました。

私が就任させていただく法人本部は、前理事長が戦中戦後に苦労を重ねてきた方達の老後が少しでも報われるようにと設立した貴重な福祉施設です。また、開設意図も今後、福祉施設の発展を目的とし、介護保険制度と同時に開設された施設で、特別な想いで作られたこともあり、利用されている方々、地域での信頼など、皆様の期待も大きく背負った複合施設であります。そういった期待も込めた活気あふれる環境で、今回のお話しをいただき、まさに身に余る喜びを感じると同時に、その責任の大きさを考え、少なからずプレッシャーを覚えました。



リブインさくらに在職中はご入居者、ご家族、スタッフ達より心温まるお話、アドバイスを多数いただき、私を育てていただいた環境でもありました。その環境はとても温かく、生活を送るうえで、いつも気遣っていただき、仕事に対する原動力、前向きな気持ちで取り組めたことに大変感謝いたします。また、各スタッフがチームとなり、結束することで最大の力を発揮し、ご入居者の生活を守り、充実していただくために、日々、切磋琢磨してきました。そんな、心優しいスタッフに囲まれ、私のわがままを受け入れていただき、本当に働きやすく幸せでした。

今後もしリブインさくらはご入居者の皆様に温かいお言葉をいただきましたながら、支援をして参ります。何事も一生懸命に取り組み、満足していただけるようサービス内容を構築してまいりますので、ご入居者の皆様も温かく見守っていただければありがたいと思います。

いつまでも、健康で笑顔あふれる環境、それがリブインさくらでありますよう、心から応援します。開所当時から六年間の貴重な経験を今後、法人全体の発展へ生かして行きたいと思っております。今まで、本当にお世話になりました。



ご挨拶

主任介護支援専門員 野崎 建治郎



ご入居者の皆様、ご家族の皆様、初めまして。平成二五年度よりリブインさくらで働かせていただくことになりました野崎建治郎と申します。着任にあたりまして、皆様にご挨拶申し上げます。

これまで私は、足立邦栄会の法人本部である『特別養護老人ホームさくら・障害者支援施設かえで』で十年間、生活相談員・介護支援専門員・サービス管理責任者として働いて参りました。初めて就いた福祉の職場であり、色々な試行錯誤を重ねながら過ごした十年間でありました。

その中では様々なご利用者やご家族との出会いがありました。そして今、私が大事にしている言葉があります。『アイアムOK、ユーアーOK』という言葉です。どうやら心理学の用語のようでして、詳しいことは良くわからないのですが(スミマセン)、私はこの言葉を『私は今の私そのままここに居て良い。あなた(他他人)は今のあなたそのままここに居て良い。互いに互いのままで居て良い』という意味に受け取っています。

前職では本当に様々な方と関わらせていただきました。温かい家族に囲まれて幸せな老後を送られている方、若い頃のご自身の生き方が原因で親戚縁者一切を失った方、障害を負った後の後半生をなかば諦めてしまっている方、諦めずに生き直しを必死に模索する方、などなど。

皆様それぞれが、それぞれの生を選び、歩かれています。もちろん、個人の価値観とは異なる生き方を選ばれている方も多くいます。振り返れば、そうした方々との関わりの中、私の個人的な価値観で、相手の生き方を勝手に評価し、自分の心の内で勝手に裁き、且つその傲慢さに自分自身が気づかずにいる、という時もありました...

そうした過ちを起ささない為に『アイアムOK、ユーアーOK』という言葉があります。私個人の生のありようはそれほど良い。目の前のご利用者やご家族の生き方をそのまま率直に受け止め、肯定的に関わることが可能になってゆくののだと思います。リブインさくらに着任後、ご入居者やご家族の皆様、職員の方々など、多くの人と出会い、関わらせていただくこと

とになります。とても楽しみです。それと共に、緊張と大きな責任も感じます。皆様それぞれの生き方、人生に心からの敬意を払い、皆様それぞれに『生きてきて良かった』と少しでも思っていたらいいように、微力ではありますが、精一杯の力を尽くして参りたいと思います。

着任当初は不慣れな点や至らない点が多くあると思いますが、皆様からの厳しい叱咤激励をよろしくお願い申し上げます。

お誕生日会



毎月、お誕生日を迎えられる月に、好きな物を召し上がっていただく。こうと、外食を企画しています。居室担当者何と何を召し上がりたいたいか相談し、

皆 様、次のお誕生日までに、何を召し上がりたいたいか、検討しておいてください。

寒

寒い冬からようやく、日を追う毎に過ごしやすくなってきました。しかし、花粉症に悩まされている方も多いようで、ドラッグストアでは様々な『花粉症対策グッズ』を見かけます。特に今年は、飛散が多く、今年から花粉症になったという方も増えているようです。そういう私もそのひとりのようです。(自分では認めたくはないのですが・・・)、



目の痒み、涙と鼻水、鼻つまりに苦しんでいます(苦笑)。はいえ、春になり、リブインさくらの駐車場にある桜の木も満開になり(この号が発刊される頃には葉桜と

なっています)。新年度を迎え、職員体制も変わり、リブインさくらも新しくスタートしました。ご入居者の皆様にこれまで以上のサービスをご提供できるよう、職員一同、努めて参りますので、よろしくお願いたします。